

## 隠岐水産高校PTA活動

島根県立隠岐水産高等学校

PTA会長 武田 浩志

隠岐水産高校は、島根半島から約八十kmの日本海に浮かぶ隠岐の島町の西郷湾に位置しています。校舎のすぐ隣が海であるため、すぐに海に出て実習ができるという、日本でも数少ない立地条件に恵まれた水産高校です。このような中で生徒たちは、毎日、海に慣れ親しみ、各種の実習を繰り返しています。また、本校は、平成二九年度に創立百周年を迎え、新たな一歩を踏み出しました。島内はもちろんのこと、県外からもたくさんの方が入学しており、全国各地にPTA会員がいます。そんな隠岐水産高校でのPTA活動の様子を紹介します。

### PTA活動の基本方針

- 一、PTA活動の伝統行事を継承し、活発で発展的な事業展開を行う。
- 一、学校・家庭・地域の連携を強化し、学校活動や教育環境の支援を行う。
- 一、会員への活発な情報発信で意識を高め、事業への積極的な参加を図る。
- 一、PTA活動をとおして、隠岐水産高校の素晴らしさを生徒並びに社会に伝える。

この四つの柱のもと、PTA活動を展開しています。特に、学校行事への積極的な参加は、私たちが実際に学校を肌で感じられる活動として、一番重要なものと考えています。

夏休み明けにすぐに開催される体育祭。生徒たちは厳しい残暑の中元気にグラウンドを駆け回っています。私たちは、その中で昼休みのか



マラソン大会豚汁



体育祭でのかき氷



カッター大会ママさんチーム

き水サーブスを行っています。生徒たちはもちろん、先生方や、応援に来校されている地域の方々と一緒に話をしながらの活動で、楽しいだけでなく、子どもたちの熱中症予防対策として一役買っていると自負しております。

例年、体育祭の翌週には、「全隠岐カッターレース大会」が隠岐水産高校を会場に行われます。カッターレースとは九mのカッターと呼ばれるボートを十四人で心をつなげて漕ぐ競技です。生徒はもちろんのこと隠岐の島町の若者や、かつて若かつたOJたち、そして私たちPTAも、出場選手として参加します。この時には県外からの保護者さんも多く駆けつけられ、地域全体が熱くなる大会です。

オールが重くて腕はパンパンになります。せめて子どもたちには、最後まで諦めないところを見せたいと、父親は奮闘し、お母さん方も負けじと完全に真剣勝負です。大きなかけ声を出し、日頃運動不足の身体がバラバラになるような感覚を覚えながら一生懸命漕ぎます。身体は疲れますが、学校と子どもたちと一体になることができる大切な行事です。

この他にも校内マラソン大会での豚汁サーブスなど、生徒とのふれあいの機会があれば学校に足を運ぶPTA活動を実践しています。

これからも、このような様々な活動をおして、学校、地域と一体になったPTA活動を行っていきたいと思います。